

人工呼吸器離脱アセスメントプログラム J-BWAP を 学習する e-learning 教材の開発と学習効果の検討 ： ランダム化比較試験

著者	木村 理加
学位名	博士（看護学）
学位授与機関	聖路加国際大学
学位授与年度	2020
学位授与番号	32633甲第196号
URL	http://hdl.handle.net/10285/00016448



氏 名：木村 理加

学位の種類：博士（看護学）

学位記番号：甲第196号

学位授与年月日：2021年3月10日

学位授与の要件：学位規則第4条第1項該当

論文審査委員：主査 吉田 俊子（聖路加国際大学教授）

副査 林 直子（聖路加国際大学教授）

副査 奥 裕美（聖路加国際大学教授）

副査 大出 幸子（聖路加国際大学公衆衛生大学院教授）

副査 宮坂 清之（聖路加国際病院麻酔科医幹）

論文題目：人工呼吸器離脱アセスメントプログラム J-BWAP を学習する
e-learning 教材の開発と学習効果の検討：ランダム化比較試験

博士論文審査結果

人工呼吸器管理は生体侵襲も大きく長期化はさらなる合併症を誘発することから早期離脱が重要であり、人工呼吸器離脱への看護師の臨床推論能力を高めることが求められる。本研究は、学位申請者が修士課程で開発した、米国の人工呼吸器離脱関連項目の包括的スコアリングツール **Burns Wean Assessment Program (BWAP)** 日本版を用い、**e-learning** 教材を開発して学習効果を検討することを目的とした。対象はクリニカルリーダーⅡ以上のICUに勤務する看護師70名とし、教育を行なう介入群と、実施しない対照群を無作為に割り付けたランダム化比較試験により学習効果を検証した。**e-learning** 教材を受講した介入群は、対照群と比し人工呼吸器離脱に関するアセスメント得点が有意に高いことが示された。本教材はアセスメントの根拠の理解と知識の上昇に対して効果を示し、ICU看護師の人工呼吸器離脱アセスメント能力の向上をもたらす教育方法として効果的であることが検証された。

審査においては、以下の点において修正が必要とされた。また論文の表記について、円グラフや表の記載についての修正が求められた。

1. 研究方法

評価の質問項目の回答方式（択一問題、5択問題）における複数回答への採点方法が不明瞭である。

サンプルサイズの算出の表現が不明瞭であり、質問項目の配点が明確にすることが必要である。

2. 考察

プログラムの脱落者に対するフォローの必要性、及び方法への考察を要する。
臨床応用において e-learning のシステムでの求められる視点について、成人学習理論等を用いた理論的考察を深める必要がある。

オンラインによる教育と従来の教育方法の相違、オンラインによる教育の限界を考察することが必要である。

時代の変化に伴う、今後の新たな教育への展望を踏まえた考察が求められる。

以上の指摘事項に対する加筆、修正を審査員全員にて確認した。

本研究は、集中治療領域に勤務する看護師の臨床推論能力の向上に資することが可能であり、現任教育に委ねられている人工呼吸器離脱への教育機会の確保にもつながる研究である。今後のさらなる検討により、多職種へのチーム医療の質の向上や患者のアウトカムの改善が期待される。

以上により、本論文は本学学位規程第 5 条に定める博士（看護学）の学位を授与することに値するものであり、申請者は看護学における 2 研究活動を自立して行うことに必要な高度な研究能力と豊かな学識を有すると認め、論文審査ならびに最終試験に合格と判定する。